

MRI 室用オーディオシステム

iMag

MRI 撮像時のリスク管理に
MRI 室用オーディオシステム



- ◆ 品質の高い音声・音楽を被検者へ届けることが可能
- ◆ 遮音性の高いヘッドフォンでスキャン音を遮断して不安感を低減
- ◆ 被検者の状態を音声で確認することでより高次の安全性を確保（双方向タイプ）
- ◆ 頭部撮像時のヘッドコイルでも使用可能な薄型ヘッドフォンを標準付属
- ◆ 3テスラ MRI システムに対応



Star Product

MRI室用オーディオシステム iMag

検査中のリラックスを提供

iMagはMRI室用の強磁場に対応したオーディオセットで、ヘッドフォンを通じ、高品質の音楽や音声を被検者に届けます。

撮像中にガントリ内に響くスキャン音を遮音性の高いヘッドフォンが遮断するため、被検者が受ける不安感を最小限に抑え、リラックスして検査を受けることができます。

また、オールラウンドヘッドフォンは薄型で遮音性が高く、頭部検査時のヘッドコイルにも使用可能です。さらに隙間のない方のために、薄型セパレート式ヘッドフォンも付属しています。

双方向通話でより精度の高いリスク管理を実現

iMagのタイプは一方向と双方向の2つがあり、双方向タイプでは操作室側と検査室側の被検者で音声通話が可能です。

ガントリ内の状況を音声により把握することができ、被検者の喘鳴やごく小さな音も優先スピーカーにより確実に操作室に届けるよう設計されていますので、より精度の高いリスク管理が可能になります。

MRI本体の自動音声案内接続が可能

iMagにMRI本体の自動音声案内（オートボイス）を接続できます。音楽を流している間にMRI本体からの自動音声案内が流れると音楽を中断して自動音声案内に自動で切り替え、自動音声案内が終了すると音楽に自動復帰します。

操作室のレイアウトを自由に

操作室に設置するコントロールボックスからマイクスタンドを分離し、必要なものだけを近くに配置できます。

マイクスタンドは省スペース設計で長いマイクアームを採用していますので、少ないスペースでも配置することができます。



システムの基本構成

- | | |
|---------------|------------------|
| ① コントロールボックス | ⑦ オーディオボックス |
| ② マイクスタンド | ⑧ オールラウンドヘッドフォン |
| ③ フットスイッチ | ⑨ 薄型セパレート式ヘッドフォン |
| ④ オーディオプレーヤー | ⑩ ヘッドフォンチューブ 4m |
| ⑤ スピーカー（1セット） | ⑪ ヘッドフォンカバー |
| ⑥ 通信ユニット | ⑫ 専用架台 |

2種類のヘッドフォンを標準付属



オールラウンド
ヘッドフォン



薄型セパレート式
ヘッドフォン

※写真はマイク付きの双方向タイプ

基本仕様

インプットレベル（推奨入力レベル）

音楽信号	1V / インピーダンス320Ω
自動音声信号	50mV～200mV

アウトプットレベル

	操作室側	検査室側
最大出力	660mW	600mW
スピーカー抵抗値	6Ω	8Ω
L/Rドリフト	±5dB以下	±5dB以下
S/N比	50dB以上	40dB以上
周波数特性	10Hz～200kHz	20Hz～5kHz
クロストーク	50dB以上	20dB以上

ヘッドフォンチューブに於ける特性

総合周波数特性	-15dB
チューブ長さによる減衰（4m）	-6dB

電源

ACアダプター（操作室・検査室各1） DC7.5V 1.73A

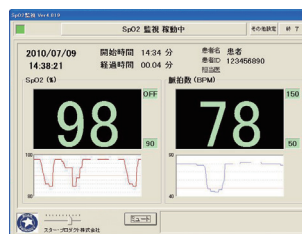
MRI 検査リスクマネジメント 関連製品

■ MRI 室用パルスオキシメータ 7500FO

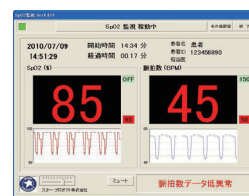


MRI検査時の経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）、脈拍数をモニターします。呼吸障害児、麻酔下、鎮静下、造影剤使用時小児などの検査時は危険を伴います。パルスオキシメータでモニターすることにより被検者の容体が急変しても即座に知ることができます。

■ 外部監視システム



アラーム発生例



数値が点滅します

操作室に設置するPC画面上に7500FOのデータをリアルタイム表示します。操作室にしながら経皮的動脈血酸素濃度（SpO₂）、脈拍数の常時監視が可能。緊急時にはアラーム音と数値表示の点滅で警告します。

※仕様は予告なしに変更することがあります。

製造販売業者



スター・プロダクト株式会社

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-24

TEL:03-3812-6005（代表） FAX:03-3812-6006